

三間町人権あったかコンサートの感想より

今回は、先日生徒の皆さんに書いていただいた三間町人権あったかコンサートの感想文から、ピックアップして紹介いたします。

【箏曲部のオープニング演奏】

・演奏を聴いていたら、明るい気持ちになった。皆が知っている歌を演奏していて、会場もとても明るい雰囲気になっていた。(3年)

・箏曲部の演奏は、息がぴったりで、最初にふさわしい感じで、良かった。表現力がすごく、日々の練習を頑張っているのだと思った。(2年)

・オープニングで、「上を向いて歩こう」「明日があるさ」を箏曲部一同で演奏した。今回に限られたことではないが、演奏前に部員皆で「頑張ろう」と励まし合った。仲間の大切さを改めて感じさせられた。(1年)

【オカリナと朗読「つなげよう この思い Part II」(ともだち・三間町婦人会)】

・オカリナは、朗読の雰囲気と合っていて、とてもよい音だった。朗読された詩「タンポポ魂」が好きである。タンポポのように強く生きていきたいと思った。(3年)

・「念ずれば花開く」の詩の朗読が特に良かった。苦しいときに「念ずれば花開く」という言葉を心の中で唱えるという詩が、とてもいいと思った。私も、苦しいことなどがあるときは、心の中で唱えている言葉がある。だから、「念ずれば花開く」の詩の朗読から、元気をもらうことができた。(2年)

・オカリナと朗読では、きれいなオカリナの音と優しい朗読の声が印象に残った。人権について分かりやすくまとめられていた。(1年)

【歌「ひびけ！こころのハーモニー」(成妙小学校全校児童)】

・成妙小の合唱の曲は、私にとって思い出の曲である。私の担任の先生が作ってくれて、とてもお気に入りの曲だった。今改めて聴くと、友達は大切だと感じた。そして、今でもずっと歌い継がれていることに、うれしさを感じた。(3年)

・私は、成妙小の合唱が良かったと思う。たくさん練習してきたのだろうと思った。また、本当に学校が好きであり、友達が好きなのだという気持ちが伝わってきた。歌詞もすごく良かった。(2年)

・成妙小の皆さんが合唱で歌っていた曲は、先生が作ったものだと聞き、驚いた。詩も分かりやすく、伝えたいことがしっかり書かれていて、感動した。(1年)

【人権学習発表「三間町人権研修会報告」】

・人権研修会に参加した。昔の人たちが立ち上がったから、今の私たちの生活があるのだと思った。差別と闘った人たちがいるから、今の自分たちが平和でいられるのだということを、忘れずに過ごしたい。(3年)

・発表者の声が、聞きやすかった。差別問題のことについて知ることができた。差別は、受けている人にとって、とても辛いということを実感した。今後、相手の気持ちを考えて行動したい。(3年)

・人権学習の発表を行った。部落差別の現実や、高松結婚差別裁判糾弾の闘いについて、皆に伝えることができた。(2年)

(裏面に続きます。)



・人権学習発表では、米騒動のことについても触れられ、歴史の時間に習ったばかりだったので、ある程度分かっていた。そして、米騒動がこの辺りでも起きていたのは、正直初めて知った。(2年)

・人権学習発表では、人権の大切さ、人の大切さなどが改めて分かった。最後の、坂村真民さんの詩「二度とない人生だから」がすごく心に残った。人を大切にすることが改めて分かり、人権とはどういうものなのか考えさせられた時間だった。(1年)

・これから人として生活していく上で、偏見や差別が無くならない限り、争いが起きてしまう。その中で、私たち若者がお互いを尊重し合い、新しい社会を作っていくべきだと実感した。(1年)

【山下純一コンサート「～盲目で車椅子のミュージシャン～ 見えない僕が観た世界」】

・山下純一さんから、「生きる意味」を教えていただいたような気がする。私は時々、全てが嫌になり、「全部捨てたい。」と思うときがある。更に、周りの皆が頑張っているのだということに気付かされ、「このようなことで悩んでいる自分が情けない。」と思うこともある。けれども、自分を「情けない」と思うのではなく、ここまで頑張ってきた自分に「お疲れ様！ここまで行くことができたのだから、次も頑張ろうね。」と声かけすることが大事なのと思った。純一さんは、行いたいことに向けて精一杯頑張っていて、今好きな仕事をしている。私も、夢中になることを見つけて、頑張りたいと思った。(2年)

・山下純一さんは、私の想像していた雰囲気と全然違う、明るくおもしろい人だった。目や手足が不自由であることによって大変なこともたくさんあるという話をされていても、明るく話しておられて、強い人だと思った。自分のやりたいことを自分流にやっておられて、すごいと感じた。小学校の時、点字学習や、目をつむって歩道にある点字ブロックを通過してどう思うか、というようなことを行ったとき、少しも見えなくて怖い思いをした。ずっと真っ暗な世界は、考えられないと思った。いろいろな人が、いろいろな個性を持っているので、たくさんの人と触れ合っていて、知っていききたいと思った。(2年)

・目や手足が不自由であるのに、それに対し、「悔しさ」とか「憎しみ」とかを一つも持っておられずに、ただ自分にできることを全力で行っておられるのは、とてもすごいと思った。私とは比べものにならないほどの困難に、何度も直面され、それを乗り越えてきた山下さんが歌う言葉は、ものすごい説得力と重みがあった。また、純粋に、「ミュージック」としても楽しめた。メロディーがかっこよくて、力強く、引き込まれた。(1年)

・今の私は、普段の生活で不自由を感じていることはない。けれども、山下純一さんから、エレベーター内の点字が、車椅子を利用している人にとっては届かない高さにあたりすることなど、ハッとさせられる話を聞くことができた。そして、相手の立場になって考えなければならないと、気付かされた。自分にとっては何でもないことが、他の誰かの中に、不自由な思いをさせていることもあるのだということに気付き、行動していきたいと思った。そして、山下先生は、病気があるということを自ら受け止め、明るい気持ちで過ごしておられる。その姿から、元気ももらった。(3年)



提出〆切：1月22日(月)

保護者の皆様の御意見・御感想をお聞かせ下さい。()年

生徒の感想 ()年()組()番 氏名()